石巻支所復興だより

復興庁 Reconstruction Agency 新たなステージ　復興・創生へ

令和２年１月 23 日 №4

宮城復興局　石巻支所

# いしのまき市民公益活動連絡会議　第１回全体会が開催されました

石巻市では、東日本大震災以降、多くの NPO 団体が各々の専門性を生かし、復興への取り組みを行ってきました。被災によって震災前からの地域課題が顕在化したこともあり、震災支援をきっかけとして、各団体が子育てや福祉等それぞれの得意分野で課題解決に取り組んでいます。現在、石巻市が設置した「石巻市NPO支援オフィス」には200以上の市民公益活動団体が登録しています。

市内で活動する NPO 団体の相互連携と、行政や企業、多様なセクターとの連携を推進するため、平成 27 年 10 月に「石巻市 NPO 連絡会議」が設立されました。この連絡会議には約 100 団体が入会しました。

そして、昨年９月、さらなる連携強化と各団体の活動活性化による健全な地域づくりを目的として「石巻市 NPO 連絡会議」は「いしのまき市民公益活動連絡会議」（略称　いしのまき会議）として生まれ変わり、次のステージへと進むこととなりました。

いしのまき市民公益活動連絡会議設立総会

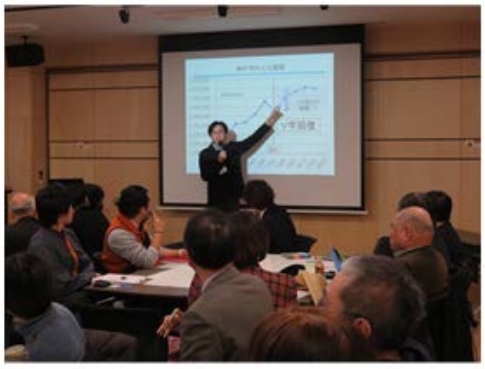
役員の方々による話し合い

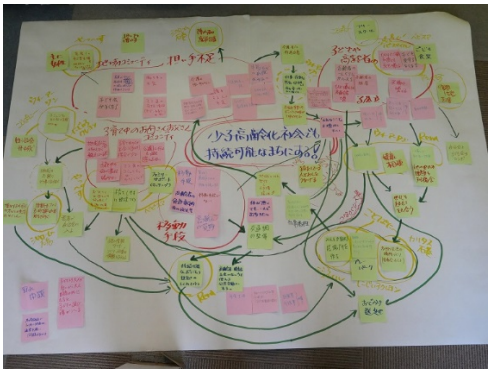
令和2年1月 20 日、15 名の役員が協議を重ねて準備をした第 1 回全体会が石巻市かわまち交流センターで開催され、会員団体や関係機関から約 50 名が集いました。来賓として石巻市からは菅原副市長が出席し、参加団体に対して復興支援への謝意や今後の期待が語られました。

いしのまき会議　第１回全体会

来賓挨拶　菅原副市長

全体会の中では、協働の新たなステップの歩みを進めるために、連携のあり方を多方面から考えるため、まず、理事から、「複雑な社会課題を解決する活動を成功に導く 12 のステップ」として協働の事例や課題についての話題提供がありました。



さらに、「協働を体感してみよう」として、『少子高齢化社会でも持続可能なまちにする！』をキーワードとしてワークショップを行いました。各団体が地域課題を出し合い、その課題解決のために自分たちにできる活動、すでに実施している活動を確認しました。そして、ワークショップを通して互いの活動の関連性や新たな協働の可能性に気づくことができました。これまでにはない団体の活動分野をこえた活発な意見交換が行われ、改めて地域の課題を共有する機会となりました。

市民公益活動団体間で新たな活動が期待できるとともに、今後、この連絡会議には、NPOとの対話の窓口としての役割も大いに期待されることと思います。